

1. 学年・教科・単元名      2年 音楽科 「リズムにのってあそぼう 山のポルカ」
2. 実践者（所属）      浜崎 俊治（野川小学校）
3. 使用する機器・メディアなど

入 力		ソフト, コンテンツ	出 力	
<input type="checkbox"/>	教材提示装置	Web サイト ( )	<input type="checkbox"/>	50 インチ大型テレビ
<input type="checkbox"/>	コンピュータ			電子黒板
	デジタルカメラ	PC ソフト ( )		プロジェクタ
	SD カード			プリンタ
	デジタルビデオカメラ	DVD ソフト, 放送番組 (教材用音楽CD)	<input type="checkbox"/>	
	DVD プレイヤー			
	その他 ( )			

4. ICT 活用のねらい（資料「教育の情報化に関する手引」文部科学省 2009 年）

教師が活用する場面		児童が活用する場面	
	興味・関心を高めるため		情報を収集・選択するため
<input type="checkbox"/>	課題を明確につかませるため		文章, 表や図にまとめるため
<input type="checkbox"/>	わかりやすく説明したり, 児童の思考や理解を深めたりするため		わかりやすく発表したり表現したりするため
	知識の定着を図るため	<input type="checkbox"/>	知識の定着や技能の習熟を図るため

5. 学習活動の流れ

学習活動 (15分)	ICT 活用の留意点等
1. 教師の指の動きを見ながら練習する。 2. CDに合わせて演奏する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材提示装置で撮影した鍵盤ハーモニカの画像を50インチ大型テレビで提示する。</li> <li>鍵盤にはドレミ…と階名をふっておく。</li> <li>CDをコンピュータで再生する。</li> </ul> ※CDを再生する際は, コンピュータ音声出力(イヤホンのマークが付いていることが多い)とテレビの音声入力とをつなぐケーブルが必要

6. 実践のポイント

- どの指でどの音を弾くかがよくわかるので, 間違えて覚える子どもが少なくなる。
- 50インチ大型テレビがスピーカーの代わりになるので, クラス全員が鍵盤ハーモニカを弾いても聞き取れる。(列ごとや半分に分けた方がより効果的。)